

児童を主体とする読書活動・図書館活動について

豊田市立堤小学校

はじめに

本校は全校児童700名の大規模校です。学校司書は毎週火曜日に勤務しています。委員会活動には5・6年の児童が取り組み、34名の児童が図書委員会に所属しています。図書館は高学年図書館「本の森」(3～6年)、低学年図書館「本の宝島」(1～2年)の2つに分かれており、図書委員は二手に分かれ、図書の貸し出し・返却の活動に取り組んでいます。

1 100冊名人の取り組み

本校では、児童が年間に100冊の本を借りることを一つの目標とし、100冊借りた児童を「100冊名人」として評価する取り組みを行っています。100冊を達成した児童の図書カードには、達成を記念してシールを貼ります。また、達成した児童の名前をお昼の放送で図書委員が紹介しています。図書委員は貸し出しの活動を行う際に、「～さん、〇〇冊です。」と借りに来た子の累計貸し出し冊数を伝えるよう心掛けており、子どもたちがたくさんの本を借りようとする意欲を高めています。

多くの児童がたくさんの本を借りるように働きかける活動は、児童の不読率を下げることに価値があるとともに、図書館に人が集まることに価値があると思っています。来館者が常に少なく、児童だけで管理している状態の図書館では、人目が少ないためにトラブルや防犯上のリスクが高まります。人がいつも集まり、落ち着いて読書活動に取り組める雰囲気の良い図書館を目指しており、100冊名人の取り組みはその一助となれば良いと考え、行っています。

2 図書館まつりの活動

年に2回、6月と11月に図書委員会が企画・運営する図書館まつりの活動を行っています。100冊名人の取り組みとリンクして本を借りる機会を増やすことを一つの目標としつつ、それに加えて一冊の本をじっくりと読むような、読書の質を高める活動を毎年検討しています。

6月には、図書委員の案で「クラス対抗、読書バトル」を実施しました。児童は借りた本の冊数分、図書委員からシールを受け取りました。そのシールを学級で集め、クラス対抗で競い合いました。上位クラスを放送で表彰し、全体目標(50枚シールを集めよう)を達成したクラスには景品として塗り絵をプレゼントしました。

11月には、「読書郵便を送ろう」を実施しました。本校で読書郵便の活動を行うのは数年ぶりで、郵便の用紙はどのような内容・デザインが良いかを図書委員で話し合っ



おわりに

今後も市内の図書館主任同士で情報交換をしたり、愛知県図書館研究会のHPを参考にしたりしながら、児童の読書の充実、図書館教育の推進を図っていききたいと思います。